

UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKERS'

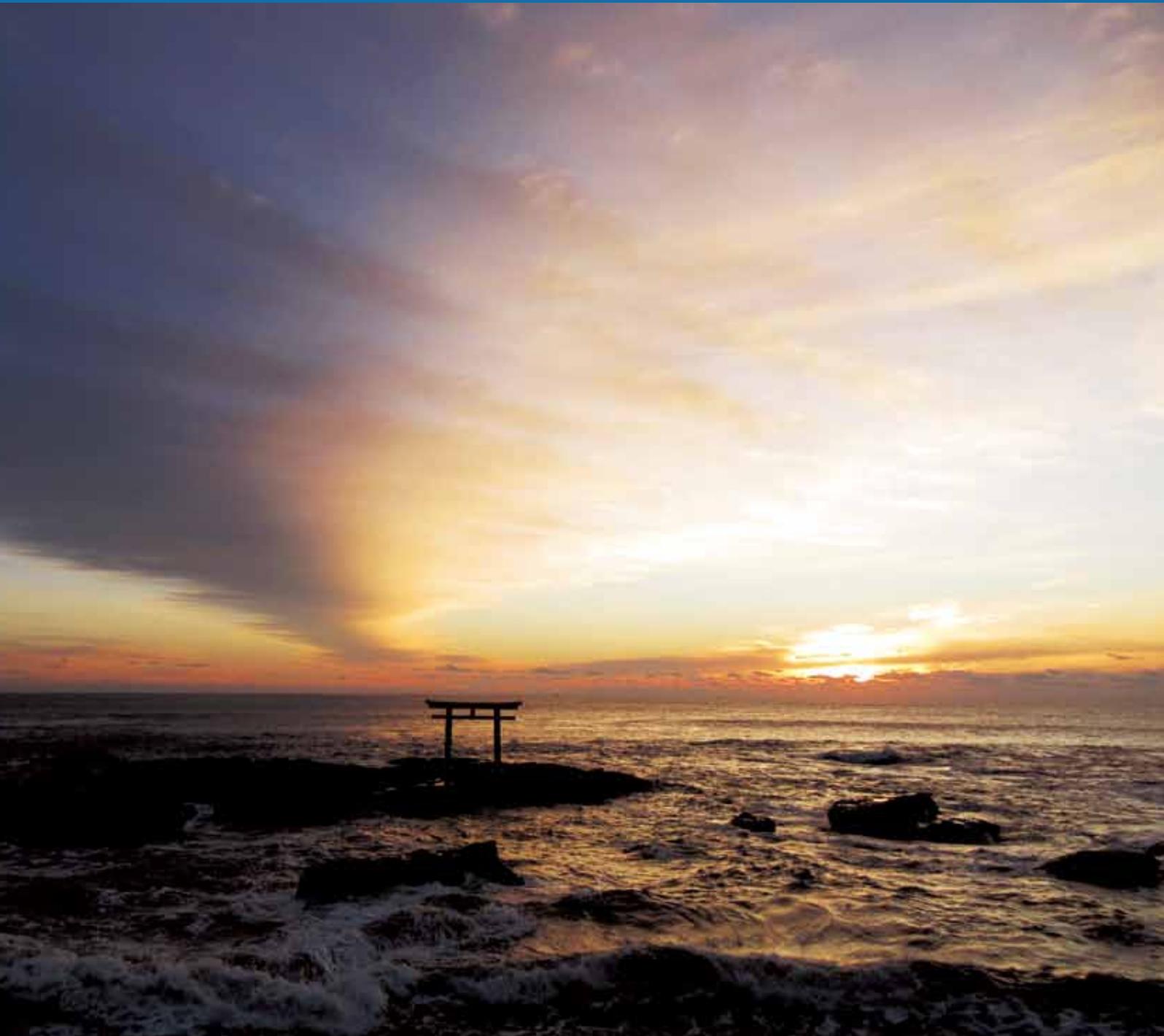
けんせつ宇都宮

CONSTRUCTION

vol. **311**

2018

【題字】宇都宮市長 佐藤栄一様



『神光の朝』 (株)高田組 高田 浩行様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会



平成30年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会
会長 増 潤 薫

あけましておめでとうございます。平成30年の希望に満ちた新しい年を迎え、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、異常気象が常態化しているなかで、相変わらず自然災害が多く発生しました。特に、最近よく耳にする線状降水帯（雨雲が帯状に連なる）による福岡県や大分県を中心とした7月始めの九州北部豪雨、また7月末には梅雨前線に伴った秋田県豪雨災害などが相次いで発生しました。本県においても、春先に那須町のスキー場付近で雪崩災害が発生したことは記憶に新しいところでもあります。

一方、秋篠宮家の長女、眞子さまのご婚約発表をはじめ、日本で5年ぶりとなる赤ちゃんパンダの誕生や史上最年少プロ棋士としてデビューした藤井聡太四段が初戦から歴代単独1位となる29連勝を達成、そして陸上男子100mで桐生祥秀が日本人初の9秒台、9秒98をマークする快挙等々、明るい話題が数多くあった一年でもありました。

さて、昨年3月、政府において長時間労働の是正等を盛り込んだ「働き方改革実行計画」が策定されました。

この長時間労働については、これまで建設業は一定の長時間労働は避けられないとして、時間外労働の上限規制の適用が運輸業とともに除外されてきましたが、今般の実行計画では、災害復旧・復興は特例的扱いとして設けられたものの、改正労働基準法施行（平成30年4月以降）後、5年の猶予期間を置いた上で、時間外労働の罰則付き上

限規制の一般則が適用されることとなりました。

この「働き方改革」については、労働力人口の減少を背景に、国を挙げての大きな課題となっており、現在、県においても余裕期間制度の導入や週休2日制モデル工事の試行等、「働き方改革」の一環として諸施策に取り組んでいることは十分承知しております。我々建設業としても、業界特有の構造的問題から一朝一夕とは言い難いですが、将来にわたって担い手を確保・育成していくためには、「働き方改革」を是非とも推進していかなければならないと強く感じているところであります。

もとより、地方の建設業は社会資本整備の担い手として、また災害時に最前線で活動する安全・安心の地域の守り手として、大きな社会的役割を果たすことが期待されております。その役割を将来に亘って持続的に果たしていくには、健全で安定した経営基盤を構築することが大前提であり、そのための入札契約制度の改善や事業量の確保に向けて、発注当局等へ適時適宜に要望活動等を行ってまいり所存でありますので、会員の皆様のさらなるご支援・ご協力をお願い申し上げる次第であります。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



平成30年 新年挨拶



栃木県知事
福田 富一

あけましておめでとうございます。
一般社団法人宇都宮建設業協会の皆様には、日頃から本県の社会資本整備の推進に多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の各プロジェクトを推進するとともに、地方創生の更なる深化に向けて、栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生 15（いちご）戦略」に掲げた取組を積極的に展開して参りました。特に計画の中間年にあたる「15（いちご）戦略」については、「県民所得」や「観光消費額」、「農産物輸出額」などの指標は順調に推移しているものの、「転出超過数」など人口動態に関わる指標は改善が見られず、より実効性のある取組を進めていく必要があります。

このため、「元気発信プラン」や「15（いちご）戦略」に基づく施策につきましては、国の「人づくり革命」等とも呼応しながら、それぞれの進捗を踏まえより確かな成果に結びつくよう、更に取組を加速させて参ります。特に、U I J ターンの推進や女性が働きやすい職場環境の整備、関西圏等における観光や企業誘致に関する情報の発信力強化などに取り組むことにより、「とちぎ創生」の実現を図るとともに、市町との協働による水害対応タイムラインの作成や妊娠から出産・子育て期まで切れ目なく支援できる仕組みづくりなど、「安全・安心なとちぎづくり」を推進して参ります。

社会が大きく変化する中、時代の潮流を的確にとらえ、本県の強みを十分に生かしながら、すべての分野で「選ばれのとちぎ」の実現を目指して、全身全霊で取り組んで参りますので、皆様のより一層の御理解と御支援をお願いいたします。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

年頭に当たり、本年が皆様にとって明るく、幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

本年は、本市の更なる発展・飛躍に向けた、これからのまちづくりの羅針盤となる「第6次総合計画」がスタートする船出の年であります。

新たな「総合計画」の素案には、「子育て・教育」を始め、「健康・福祉」、「安全・安心」、「魅力創造・交流」、「産業・環境」、そして「交通」の6つの「未来都市」の実現を掲げたところであり、子育て環境の充実や、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みの構築、大谷石を始めとした大谷地域特有の資源をフルに活用することで観光や周辺地域の新たな魅力を創出し、地域の振興を図るなど、これまでの取組を更に推進してまいります。

また、未来へのまちづくりに向け、J R 宇都宮駅東口地区が広域交流や賑わい創出の拠点となるよう、スピード感を持って事業者の募集・選定を行うとともに、「総合的な交通ネットワーク」の要となるL R Tにつきましては、市民理解の促進を図りながら、早期着工に向けて、着実に推進し、全国でも光り輝く都市として、持続的に発展していけるよう、市政運営に全力で取り組んでまいります。



宇都宮市長
佐藤 栄一

明けましておめでとうございます。

平成30年の輝かしい新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より本町の発展と町政運営にあたりまして、様々な面で格別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

本町の行政運営におきましては、昨年は新たな税収や雇用確保、人口増に向けた「新産業団地開発の推進」、上三川町の生産物をPRするための「かみのかわブランドの立上げ」など、様々な取り組みを進めてまいりました。

本年につきましても、町民の皆様の安心安全を守るための「河川改修」、雇用環境の整備を図る「新産業団地の更なる推進」、新たな定住を後押しする「住宅取得支援事業」、かみのかわブランド認定品などの町の特産物を販売するための「農産物直売所整備」等を推進してまいります。

本年も、上三川町にとりまして飛躍の年となるよう職員一同全力で取り組んでまいりますので、皆様におかれましては、引き続き、格別なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、平成30年が皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



上三川町長
星野 光利

第1回LRT研修会

～雷都を未来へ～

宇都宮建設事業協同組合（増渕薫理事長）は平成29年11月28日、県建設産業会館において第1回LRT研修会を開催した。組合員や市建設産業団体連絡協議会（同会長）会員、宇都宮市の職員ら140人が参加し、年度内の工事発注が予定されるLRT事業に関連する鉄道工事の施工事例を学んだ。

研修会の冒頭、増渕理事長から「多くの人にLRTについて勉強してもらい、我々地元の企業が可能な限りLRT事業に関わっていけるよう研鑽を積み、工事を受注できる体制を構築していきたい」とあいさつ。続いて、宇都宮ライトレール㈱の中尾正



増渕薫理事長



中尾正俊常務取締役



矢野公久室長



井上良造線路本部軌道工事部担当部長

俊常務取締役、宇都宮市LRT整備室の矢野公久室長のあいさつの後、東鉄工業㈱の井上良造線路本部軌道工事部担当部長による、車両基地や道路併走部、橋梁部の現場工事施工事例についての講演が行われた。

LRT（次世代型路面電車システム）とは、「Light Rail Transit」の略称で、各種交通との連携、低床式車両の活用や軌道・停留場の改良による乗降の容易性などの面で、優れた特徴がある次世代型の交通システムのことである。

宇都宮市のLRT事業は、「雷都を未来へ～LRTによる未来のモビリティ都市の創造～」をコンセプトに、県都宇都宮の将来に、利便性・快適性、地域に活力や豊かさを与える役割が期待されている。

宇都宮建設事業協同組合では、これまでに平成29年11月に訪れた長崎市の視察など、国内外の既存LRT事業の視察を積極的に行ってきた。今後は現地視察に加え、継続的な研修会や部門別の勉強会を企画・実施し、地域に貢献する地元企業として、宇都宮の未来を担うLRT事業の中心的な役割を果たしていく所存である。

（手塚）



委員会 活動報告

協会活動の正しい理解と活性化のために！

総務委員会

今年度の総務委員会の主な活動は以下のとおりです。

①広報誌「けんせつ宇都宮」の発刊

「けんせつ宇都宮」は（一社）宇都宮建設業協会の活動や会員企業の動向などを、広く地域のみならず発注機関に知っていただくためのもので、年間3回（1，6，11月）発刊しています。

②研修会の計画・実施

今年度は現在宇都宮市が進めているLRT事業への積極的な協力と正しい理解のため、平成29年9月から供用が開始されている高雄市（台湾）のLRT（高雄捷運環状軽軌）の視察・試乗の研修会を実施しました。会員企業からは20社の参加があり、多数の参加企業から「宇都宮市の事業への期待がより大きなものとなった。」と評価がありました。

③インターンシップの受入対応

今年度は県内の工業系高校6校（宇都宮工業、宇都宮白楊、真岡工業、栃木農業、今市工業、小山市北桜）より73名の高校生を、会員企業38社で10～11月にかけて受け入れました。研修期間は各校各学科とも月曜日から金曜日までの5日間であり、未来の建設技術者育成のための有効な指導・教育を実施することができました。

（岩原）

地域の安心安全のために！

建設委員会

建設委員会の活動としましては、河川清掃活動や宇都宮市総合防災訓練参加などの活動のほか、平成29年は宇都宮土木事務所様・宇都宮市役所様と初めて合同での「災害時対応訓練」を行いました。

【3月・5月・9月】愛りバーとちぎ河川清掃活動

【6月・11月・12月】栃木県河内地域鳥インフルエンザ及び口蹄疫対策連絡会議への出席

【8月・9月】鳥インフルエンザ対策 養鶏場現地調査 3ヶ所

【6月】宇都宮土木事務所様・宇都宮市役所様・宇都宮建設業協会合同による道路河川等管理情報システムを利用した災害時対応訓練の実施

【7月】川の日「田川クリーンアップ大作戦」の実施

【8月】宇都宮市総合防災訓練への参加

【11月】土木の日「クリーンアップキャンペーン」の実施

（入江）

安全意識の更なる向上！

安全委員会

安全委員会の活動としましては、毎月1回の安全パトロールの実施、建災防栃木県支部並びに宇都宮分会主催行事の設営等の協力、暴力団対策と交通安全に関する講習会の開催等があります。

【4月・5月・6月・9月・12月・3月】非公開委員会パトロール

【8月・11月・1月】非公開パトロール

【7月・2月】公開パトロール

【10月】合同公開パトロール

【7月】安全管理者講習会の開催

【9月】建災防栃木県支部安全大会の設営協力

【10月】建災防栃木県支部宇都宮分会安全対策セミナーの開催

【12月】暴力団対策及び交通安全に関する講習会の開催

今後も労働災害の撲滅を目指して、会員各社の安全対策の推進を図ってまいります。

（吉沼）

協会運営の更なる充実に“挑む！”

協組促進委員会

協会運営の組織強化を掲げ充実を図ってきた1年でした。第1期目の2年目中盤になり、更に新しい分野にも挑戦すべく奮闘しています！あらためて一般社団法人宇都宮建設業協会と宇都宮建設事業協同組合の双方の組織特性を活かして、業界と地域に貢献してまいります。

【主な活動】①栃木県・宇都宮市からの業務委託・共同受注の営業強化

②宇都宮市におけるLRT事業などの新たな分野の積極的な調査研究

③会員拡大

（庭野）

安全パトロール

2017.11.20 月

支部間クロス安全パトロール (合同安全パトロール「鹿沼支部」に参加)

平成29年11月20日、建災防栃木県支部鹿沼分会にて、宇都宮分会との合同安全パトロールが実施された。参加者は、主催者竹澤分会長をはじめとして、鹿沼労働基準監督署、発注者として鹿沼土木事務所、県西環境森林事務所、上都賀農業振興事務所、市役所、約30名。宇都宮分会からは、轟安全委員会委員長、桜井副委員長、大槌委員の3名が参加した。出発式にて竹澤分会長は、「労働環境は現場によって変わる。安全に対し現場ごとに万全を尽くして、労働災害ゼロを目指したい」と呼び掛けた。鹿沼労働基準監督署の千葉署長は、「Under100推進プロジェクト」を実施中であり、事故を発生させない気構えをもってほしい」と訴えた。パトロールのあとの講評では、良い評価として「作業環境が整っていて安全が確保されている」とし、「寒さが厳しくなる中で、体調管理を注意してほしい」と提言された。

なお、実施されたパトロールの現場は、次のとおり。

現場名 復旧治山事業山腹緑化外工事（笹原田）
施工会社 川上建設(株)

現場名 道路改良工事
小来川文挾石那田線その1（赤行）
施工会社 吉沢建設(株)

現場名 市道0020号線 道路築造工事（上殿町）
施工会社 伊藤技建(株)

現場名 上都賀庁舎新築工事（今宮町）
施工会社 中村・神谷・川上JV

(高田)



愛リバーとちぎ

2017.11.21 火

第5回河川清掃活動 土木の日・CCIクリーンアップキャンペーン

宇都宮建設業協会（増淵薫会長）は11月21日、「土木の日・CCIクリーンアップキャンペーン」並びに「愛リバーとちぎ第5回河川清掃活動」を実施。

当日、晴天の朝、当協会会員総勢68名、宇都宮土木事務所職員24名が建設業協会に集合し、末長委員長の司会の下、増淵会長挨拶、専委員からの作業注意事項の説明後、担当作業箇所へ移動を行い、12班に分かれて午前9時より清掃作業を開始。

清掃箇所は大通り裁判所前公園から4号線交差点の区間及び一級河川田川・宮の橋を中心に清掃いたしました。大通りは歩道のゴミ拾い、田川で

は遊歩道のゴミ拾い・草刈りを行い、約2時間の清掃活動により市中心部を通る大通り、同じく市中心部を流れる田川に相応しい快適な道路・河川環境の維持に参加者全員で取り組んだ活動となった。

(古橋)



2017.12.21(木)

講習会

暴力団対策及び交通安全に関する講習会



12月21日、栃木県建設産業会館にて「暴力団対策及び交通安全に関する講習会」が開催されました。

当日は約50名の出席のもと、公益財団法人栃木県暴力追放県民センターと宇都宮中央警察署警備課、交通総務課から講師をお招きし講話をいただきました。

講習に先立ち、増淵会長から「暴力団等の排除には、相手のことをよく知り注意深く対応していくことが重要。また、本県では自動車への依存度が非常に高く、あおり運転や高齢者による事故などが多発する中、年末年始にかけて事故防止対策が重要。実のある講習会にしたい」との挨拶をいただきました。

続いて暴追センターの橋本専務理事より講話があり、「反社会的勢力などへの対応」として、不当要求の内容や対応時の注意点等を具体例を挙げながら解説をいただきました。

その後、宇都宮中央警察署の福田警備課係長から「右翼対策について」、長門交通総務課長から「交通事故防止のポイントについて」それぞれお話をいただき、出席者は皆熱心に耳を傾けていました。

(矢田)

2017.11.19(日)

青年の会 活動報告

伸びやかに 空駆けぬけよ 宮の路

去る平成29年11月19日、招待選手に身長147cmの日系カンボジア人のお笑いタレントでありながら、2016年のリオデジャネイロオリンピックに出場した猫ひろしさんを招待選手としてお迎えして、第31回宇都宮マラソン大会が宇都宮市清原中央公園・清原工業団地周辺道路において開催された。競技種目は5km、クォーターマラソン、ハーフマラソン、3km（小学校4～6年生）、2km（小学校1～3年生と親のペア）の5クラスで、全国から6,291名の選手が参加して実施された。



宇都宮建設業青年の会はコース設営作業の協力を25年近くの永きにわたり毎年行ってきており、本年も会員総勢29名の参加のもと、ランナーの安全と快適な走りの確保を目的として迅速かつ正確にコース設営に協力した。

今回も事故等の問題もなく無事に大会をサポートすることができ、大会の円滑な運営におおいに貢献することができた。

(船見)

招待選手 猫ひろし選手の略歴

千葉県市原市出身。

TBSテレビの特番『オールスター感謝祭』の恒例企画である赤坂5丁目ミニマラソンで4回優勝し、その健脚ぶりを披露した。

2008年の東京マラソンから本格的にマラソンに挑戦し、2010年の同じく東京マラソンにおいて、3時間を切るサブスリーランナーとなった。同年のアンコールワット国際ハーフマラソンで3位に入賞したことをきっかけに、カンボジア代表のマラソンランナーとしてのオリンピック出場をめざす。

2011年11月にカンボジア国籍を取得し、2012年ロンドンオリンピックのカンボジア代表の内定者となるも、IOCの判断により出場できなかった。

しかし、その後もあきらめることなく走り続け、2016年念願のリオデジャネイロオリンピックに出場となった。

インターンシップ ～若者に情報発信する建設業～

どの産業でも若手労働者不足ですが、特に建設業は新規入職者の減少に加え定着率の低迷が深刻です。

一人でも多くの若者に建設業を理解してもらうことが、建設業の未来を明るくしていきます。こうした意味でインターンシップは極めて重要な取組です。

インターンシップは、高校生が教室を離れ、企業で就業体験することにより、社会の一員としての自覚と勤労観、職業観を形成することを目的としています。

本会では、栃木県教育委員会が実施している高校生インターンシップ事業に、毎年協力しています。

今年度は、栃木県内6校、8学科、73名を会員会社38社で受け入れました。



宇都宮工業高等学校	環境土木科	14名
同	建築デザイン科	16名
宇都宮白楊高等学校	農業工学科	28名
真岡工業高等学校	建設科	2名
栃木農業高等学校	農業土木科	1名
今市工業高等学校	建設工学科	土木1名
同	同	建築1名
小山北桜高等学校	造園土木科	6名
同	建築システム科	4名

期間は、平成29年10月16日～10月20日、10月23日～10月27日、11月6日～11月10日のそれぞれ5日間。事故なく安全に実施しました。受け入れ会社の皆様ありがとうございました。

さらに、インターンシップは建設CCI活動でもあります。インターンシップを通じて、若者に良い建設業のイメージが広がり、入職者の増加のみならず、社会での建設業の認知度が更に高まることでしょう。

若者、そして地域に情報発信していきます。

(石黒)

第23回忘年かずのこゴルフコンペ開催

2017.12.26 火

(一社)宇都宮建設業協会伝統の「忘年かずのこゴルフコンペ(第1回大会・昭和54年12月)」が去る平成29年12月26日(火)に宇都宮カントリークラブにおいて27名の参加者を集めて開催されました。

競技は18ホールストロークプレーでペリア方式にて行われました。

年納めの風物詩となっている本大会は、今年で23回目の開催となりました。当日は天候にも恵まれ参加者は日頃の運動不足の解消とともに会員間の親睦を深めて、楽しい一時を過ごすことができました。

結果は鹿野建設(株)代表取締役鹿野雄久さんがグロス89のスコアで見事優勝に輝きました。日頃の運動不足がたたりなかなか調子の上らない方も多く、大変接戦で大いに盛り上がったかずのこゴルフコンペでした。

(津野田)



編集後記

今年、私は生まれてから4回目の成年年男。過ぎた歳月を回想しながら、ラジオから流れてきた竹内まりあさんの「人生の扉」の歌詞に聞き入った。

「春が来るたび ひとつ年を重ね 目に映る景色も 少しずつ変わるよ・・・」

「満開の桜や 色づく山の紅葉を この先いつたい何度 見ることになるだろう・・・」

・・・「but feel it's nice to be 50」～50歳になるのもいいじゃない～

・・・「But I Still believe it's worth living」～人生は価値あることだと信じてる～

心に響く。一日一日を大切に生きよう。

一方、私ひとりが年をとるなんてちっぽけなことだ。来年4月に天皇陛下が退位され新たな年号が始まる。平成になって30年で国の暦がひとつ年をとることになる。

企業の継承と比せば、天皇や皇室を継承・存続するご苦労や皇太子殿下の心中は察するに余りある。国民のため殿下のためにも、次も昭和・平成を上回る良き時代になって欲しい。

そして、それぞれの時代を象徴する道路や建造物に名を残せる我々の仕事は素晴らしいではないか。それを誇りに平成最後の今年一年を大切に頑張ろう!

(荒井)

